

前期基本計画(案)に対する審議会意見と対応方針

1. 第6回審議会での意見

項目	意見概要	対応方針
太子町の歴史・文化の学びについて	太子町は全国で唯一聖徳太子の御陵を守っている自治体である。町の歴史・文化を知るとい意味で「ふるさと学習の推進」というのが、まちづくりにおいて非常に重要になると考えている。	「ふるさと学習の推進」のところに、改めて聖徳太子のことに触れた文章を挿入した。
	ふるさと学習は子どもたちにだけ学んでもらうのではなく、生涯学習として私たち大人もしっかりと郷土のこと、ふるさとの歴史について学ぶことがあってもよいのではないかと。	生涯学習のところに、「ふるさと学習」の記載を挿入した
	町の名前にもなっている聖徳太子とのつながりについてここで扱うのは非常によいこと。図書館に行けば郷土のコーナーが設置されているなど、実際に行われていることもあり、そうしたところを引き伸ばしていき、また今できていないことを新たに組み込んでいくのがよいのではないかと。	総合計画には、具体的な事業内容までは記載できないが、基本理念にも記載した通り、本町の歴史・文化を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えており、今後の事業の参考にさせていただきたい。
	太子町のことわかる冊子でも本でもいいので何かあれば、太子町に転入してくる人や観光で来る人にも、太子町への理解がより広がっていくのではないかと。	
	1400年前の衣装・装束、竹内街道の賑わいを再現したタイムトラベルという実写のムービーがあるので、それを来庁された人が待ち時間にも見られるように放映したらどうか。	
	観光協会としても、町民に歴史をより知ってもらうことに取り組んでいかなければならないと感じている。	
指標の扱いについて	指標とは正しさを示すものではなくて、あくまでも行政展開の進捗状況を示すものである。指標は必要なのだが、別の角度から成立してくる事柄がたくさんあるので、その辺りも意識した行政展開が必要になると思う。	今後の行政運営の参考とさせていただきたい。

2. 第6回審議会後の意見回答票による意見

項目	意見概要	対応方針
太子町の歴史・文化資源の活用について	太子町には、歴史、文化資源が数多く存在する。その、保全とともに有効に活用し観光や産業との連携を図ることが大事！	基本理念にも記載した通り、本町の歴史・文化を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えており、今後の事業の参考にさせていただきたい。
道の駅の拡大について	近年、利用者が増加傾向にある道の駅「近つ飛鳥の里、太子」を更に拡大し、もっと利用しやすくする。	道の駅の機能強化に対するご意見として、今後の事業の参考にさせていただきたい。